

令和6年度 山形県立南陽高等学校 学校評価書 (自己評価・学校関係者評価)

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 学校教育目標                                | 「自修」：自ら学ぶ意欲を育て、確かな学力を身につけさせる。 「自律」：自ら考え、主体的に行動できる力を育てる。<br>「自助」：たくましい心身と豊かな人間性を育てる。 「和敬」：郷土を愛し、社会に貢献する態度を育てる。   |
| 育成を目指す資質・能力に関する方針<br>(グラデュエーション・ポリシー) | 1 自ら学ぶ意欲を育て、変化の激しい社会で自立して生きるために必要な学力を育成する。 2 他者と協働して様々な活動に取り組むことができるコミュニケーション能力を育成する。<br>3 命を慈しみ、思いやりの心を持って自他を尊重できる豊かな人間性を育成する。 4 地域や郷土を愛し、より良い地域づくりに主体的・意欲的に取り組む態度を育成する。 |

|     |         |
|-----|---------|
| 達成度 | A 達成    |
|     | B 概ね達成  |
|     | C やや不十分 |
|     | D 不十分   |

|      |  |
|------|--|
| 重点目標 | 1 主体的な学習を促す授業の充実 2 自主性を育むキャリア教育の構築 3 視野が広く、地域社会に貢献できる人間の育成<br>4 「いのち」を大切に安全・保健指導 5 地域社会に開かれた信頼される学校づくり |
|------|--|

| 自己評価 |   |   |     |  |   |
|------|---|---|-----|--|---|
| 重点目標 | 評価項目  | 具体的方策や指標・基準等  | 達成度 | 目標の達成状況・達成にむけた取組み状況と分析   | 次年度に向けた課題と対応策   |
| 1    | ①生徒の主体性や学びに向かう意欲・態度を育む学習活動の研究・推進<br>②観点別学習状況の評価の在り方の研究、指導と評価の一体化<br>③教育活動全体における生徒の学校図書館の利用促進、読書習慣の確立  | ①校内の授業研究等を通して教師が学び合いながら、生徒の基礎的・基本的事項の定着を図り、個別最適な学び・協働的な学びを実践する。     | B   | ・生徒と保護者等との意識ギャップが見られることから、学校(授業時)と家庭とでは学習への取組み姿勢が異なり、家庭学習の習慣が定着していないことが考えられる。校内の授業研究については参観者が固定化している。<br>・職員研修会を複数回実施した。<br>・ICT機器の活用スキルは向上しているが、情報処理能力の向上にはつながっていない。<br>・Wi-Fiの整備により図書館でも一人一台端末の利用が可能になった。リクエストや希望図書等の積極的な受け入れによりニーズに応じた整備に繋げることができた。<br>・朝読書週間の際、事前に図書を準備する生徒が従来よりも増え、一定の指導の効果が見られた。 | ・教員研修や授業評価アンケート等を継続的に実施し、シラバスや指導と評価の一体化の具体的な方法等の改善につなげていく。<br>・課題の見直し等を通して、家庭学習習慣の確立に繋げていく。<br>・各教科・科目において探究的な学びに重点を置き、様々な場面で情報処理能力の育成を図る。<br>・学校教育におけるICT機器の活用について、今後も実践・分析を重ねて適材適所の活用の在り方や効率化を検討していく。<br>・図書館からの積極的な情報発信を今後も継続し、読書習慣の確立に繋げる。<br>・読書活動に関する指導について、より効果的なものとなるように時期や課題内容等を見直す。 |
|      |   | ②自己評価シートを活用し、生徒に学習の振り返りを促すとともに授業者の授業改善を進める。                         | C   |  |   |
|      |   | ③情報活用能力を育成するため、一人一台端末を用いた学習活動を推進する。                                 | B   |  |   |
|      |   | ④校務支援システムやデジタル採点ソフトの円滑で効率的な運用に努める。                                  | C   |  |   |
|      |   | ⑤図書館を書籍等の資料とWebの両方の媒体を活用できる学習拠点として整備し、各授業時の活用を推進する。蔵書の整備・拡充を図る。     | B   |  |   |
|      |   | ⑥委員会活動の活性化や広報活動の計画的な実施、読書課題の時期・内容等の検討により、読書への関心を高め、本に向き合う機会の充実を図る。  | B   |  |   |
| 2    | ①3年間の指導計画の継続的な見直し、系統的な指導の実践<br>②課題解決能力の育成、自己の生き方・在り方に対する考えを深化させる地域探究学習の実践<br>③社会人講師による講話や体験活動等を通じた視野の拡大、社会人としての見方・考え方の育成                    | ①3年間を見通した系統的な進路学習ができるよう、生徒に必要な資料や情報を提供している。                         | B   | ・生徒に必要な資料や情報は適時提供できた。進路指導年間計画は毎年作成しているが、学年ごとの内容になっている。<br>・生徒個々の希望や適性等に応じて、全職員が分担しながらきめ細やかな個別指導に当たった。<br>・総合的な探究の時間の他にも南陽高校市役所部や南陽みらい議会等で実践的な地域探究学習に取り組み、進路も含めた自己の在り方・生き方について考えの深化を図ることができた。<br>・外部からの講師・助言者等の人材を活用し、探究学習の意義を全校で確認し、進路意識の高揚に繋げた。   | ・進路指導年間計画について、より見通しを立てて指導できるよう、3年間を通じた理解しやすいものに改良する。<br>・総合的な探究の時間について、生徒の学びがより深まるよう3年間を通じた指導計画を立て、地域人材の活用機会も効果的に増やす。<br>・より効果的に生徒の進路意識高揚に繋げられるよう、外部講師による講演会の機会や種類を充実させる。   |
|      |   | ②全職員での進路指導体制が確立されている。   | B   |  |   |
|      |   | ③地域探究学習を通して、問題解決能力の育成や自己の生き方・在り方に対する考えの深化が図られている。                   | B   |  |   |
|      |   | ④外部講師による講演会を積極的に開催しており、進路意識の高揚につながっている。                             | B   |  |   |
| 3    | ①地域探究学習を通じた地域理解と郷土愛の育成、地域貢献意欲の向上<br>②地域人材を活用し地域と連携した地域探究学習の推進<br>③自主的に他者と関わる生徒会活動・部活動・学校行事の実践   | ①地域探究学習を通じて、郷土への誇りと愛着を育み、地域に貢献する意欲が醸成されてよう指導している。                   | C   | ・地域探究学習の指導に関する生徒・保護者等の評価は向上しているが、教職員のそれは相反する傾向にあり、職員研修等を重ねる中で、指導体制や学びの深まりについて課題意識をもつようになったためと考えられる。<br>・探究学習等において地域人材を複数回活用することができた。<br>・活動が一部に偏りがちになり、生徒一人一人の自主性の涵養にまでは繋がっていない。   | ・より自分事として地域課題をとらえられるよう、総合的な探究の時間の組織的指導体制を見直す。<br>・自らの生き方・在り方についてより広い視野で考えられるよう生徒と地域との繋がりを強化する。<br>・各種活動を通じて生徒個々の達成感が得られるよう、活動内容を見直し、全校で共有する機会を増やす。  |
|      |   | ②地域人材の協力を積極的に得ながら、生徒が人との繋がりを実感し、視野を広げられるようしている。                     | B   |  |   |
|      |   | ③生徒会活動や学校行事、社会参加活動を充実させることで、自主性や企画遂行力を育てつつ、生徒一人一人が達成感を得られるよう指導している。 | B   |  |   |
| 4    | ①学校安全保健計画に基づいた防災訓練の実施による安全教育の充実<br>②学校保健計画に基づいた健康診断や各種講話の実践、適切な人間関係づくりや「いのち」「健康」の大切さを考えさせる指導の充実<br>③スクールカウンセラーとの連携による生徒に寄り添った教育相談・支援の組織的な推進 | ①学校安全計画に基づき、防災訓練の効果的な実施等による安全教育を充実させる。                              | B   | ・危機管理マニュアルの見直しや防災訓練の効果的な実施により、安全意識が高まった。<br>・新入生対象のグループエンカウンターを実施し、人間関係づくりについて考えさせ、また県警職員やがん経験者などの外部人材を活用し、「いのち」について考える機会を設けた。<br>・保健講話の内容を例年の性教育からメンタルヘルスに変え、生徒のストレスマネジメントやより良いコミュニケーションの在り方について理解を深める機会を設けた。<br>・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、個々の生徒に応じた教育相談・対応を行った。                                  | ・危機管理マニュアルの定期的な見直しを継続し、防災訓練の方法等についてもより効果的な在り方を検証し、安全教育の充実を図る。<br>・生徒の状況について速やかに情報共有し、スクールソーシャルワーカーはじめ有識者の助言等も仰ぎながら、適応支援委員会を中心に迅速で組織的な対応を実践する。<br>・保健講話やスクールカウンセリング等について、生徒の実態に即した開催時期や内容、回数を計画する。   |
|      |   | ②外部講師による各種講話を通じた人間関係づくりや「いのち」を考える指導が計画的に行われている。                     | A   |  |   |
|      |   | ③臨床心理士によるメンタルヘルスについての保健講話を通して、より良いコミュニケーションについての理解を深められるようにする。      | B   |  |   |
|      |   | ④スクールカウンセラーと連携し、生徒に寄り添った教育相談が行われている。本校は相談しやすく生徒が安心して生活できる雰囲気である。    | B   |  |   |
| 5    | ①地域の各種行事への参加やボランティア活動の推奨、地域に貢献する学校づくりの推進<br>②保護者等や地域への教育活動の公開や各種メディアを利用した情報発信の推進  | ①地域の各種行事やボランティア活動に積極的に参加している。                                       | B   | ・地域の各種行事やボランティア活動に積極的に参加する生徒が多かった。また、南陽高校市役所部や南陽みらい議会に参加した生徒が牽引する形で、地域との関わりを学校全体で共有できた。<br>・学校ホームページやインスタグラムの運用が軌道に乗り、更新頻度も上がって認知度が向上した。<br>・さくら連絡網の活用により事務作業の効率化が図られた一方、重要な連絡事項が未読のままになるケースが見られた。   | ・地域の各種行事やボランティア活動への参加がより生徒主体になるよう、体制の見直しを図る。<br>・学校ホームページやインスタグラムの更新頻度を今後も維持し、質の高い情報発信を継続する。<br>・さくら連絡網の重要性について、保護者等に定期的に周知し、有事の際に備える。  |
|      |   | ②保護者等や地域に教育活動を公開し、学校ホームページとインスタグラムで情報発信している。                        | A   |  |   |
|      |   | ③さくら連絡網の効率的な運用により連絡事項を迅速かつ正確に伝達している。                                | B   |  |   |

| 学校関係者評価  |   |
|--|---|
| 意見・要望・評価等  |   |
| ・公開授業から、授業態度が良好であった。                                 | ・部活動の在り方は課題でもあり学校の特色化を打ち出す可能性も持っている。                          |
| ・中学時代から大きく成長した生徒の様子を見ることができた。                        | ・進路変更をする生徒について、困り感や課題のとらえ方が生徒と大人とでズレている可能性もあるので、注意深く見守る必要がある。 |
| ・総合的な探究の時間について、研究成果を協力者や生徒にフィードバックしてほしい。             | ・外部人材を積極的に活用して良い。   |
| ・南陽高校市役所部や南陽みらい議会に取り組んでいる生徒の活躍を各種メディアで目にする事が多く、頼もしい。 | ・生徒や保護者等から、学校の施設設備の老朽化についてよく話を聞くが、学習環境の改善に努めてほしい。             |
| ・学校全体への波及効果も期待したい。                                   | ・自己評価がしやすくなるように、生徒・保護者等対象の学校評価アンケートの質問項目を見直してはどうか。            |
| ・入学者選抜の定員割れについて、連携して対策を講じていきたい。                      |   |
| ・高校生によるSNS投稿は注目度が高いので積極的に取り組むと良い。                    |   |